

実践報告資料

研究テーマ 『自尊感情を育み、温かいつながりの中ですべての児童が安心して生活できる学校をめざして』

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名 (丹波篠山市立篠山小学校)

<p>ア 人権教育としてのねらい 人権感覚を高め、児童が自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができるようになり、お互いを尊重し合う温かい人間関係づくりをめざす。</p>				
<p>イ 研究の概要 日々の関わりや児童アンケートの実施等により明らかとなった児童理解に基づいた実践に取り組み、児童の自尊感情を育むこと。さらに、地域、家庭、学校での多様な人たちとの関わりの中で、自分も相手も大切に作る温かい人間関係づくりの取組、全ての児童が安心して過ごせる学校づくりをめざす。</p>				
教科等	各教科 (国語)	特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動
指導者	5年担任 推進教員	2年担任 推進教員	6年担任 推進教員	全教職員
実施日	1月30日	6月30日	10月9日	4月～3月
取組名	人間どうしのつながりについて大切にしたいことを考えよう	インターネットの情報に流されず、相手の気持ちを考えて話そう	地域の方と共に創るお城ガイド	縦割り班活動
目 標	弱いロボットだからできることについて考える学習を通して、人間どうしのつながりを大切にする心情を育てる。	何気なく言った言葉が人を傷つけてしまうことを知り、言葉で誰かを傷つけないように、人の気持ちを考えて行動することの大切さに気付くことができる。	篠山の歴史を伝える「お城ガイド」を地域の人たちと共に作り上げる活動を通して、地域の人たちとの交流を深める。	異学年の友だちと関わり合う中で、温かい人間関係づくりを通して、個人のよさが認め合う心情を育てる。
資料名	「弱いロボットだからできること」(東京書籍)	「何であかんのやろ」『ほほえみ』(県教育委員会)	/	/
指導内容や指導方法の工夫等	弱いロボットの存在意義や開発理由について筆者の主張を読み取り、弱さとのつながりについて考える。 今までに自分が周りに支えてもらった具体的な場面を確認した上で、ロボットのことでなく、人間どうしのつながりで大切なことについて考える。	インターネットで初めて知った言葉について質問することで、児童の日常生活と教材とを関連付けて自分事として考えさせるようにする。 登場人物の気持ちの変化に注目させ、本当に人を傷つけない言葉なのかについて立ち止まって考えさせることの大切さに気付かせる。	篠山の歴史についてガイド(お城ガイド)するために、地域の人と一緒にガイド原稿を考えることで、地域の人との交流を深める。 実際に篠山城を訪れた人に対して、「お城ガイド」を行い、ガイドの感想を聞くことで、地域の方と交流を深め、自分たちの住む篠山への愛郷心を育てる。	異学年での交流のため、1～6年生の全校生で班編成をする 縦割り班遊びでは、1～6年生が遊びの中で、交流しながら温かい人間関係づくりに取り組む。 縦割り班で温かい言葉を集める活動を通して、自分も友だちも大切に作る関係づくりに取り組む。